

allard

S.O.T レスティングスプリント

# プロフェッショナルガイド

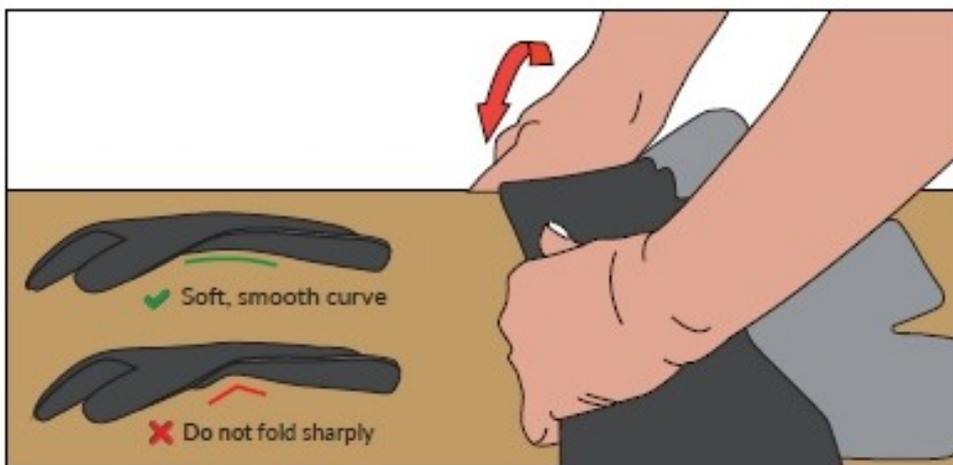


# S.O.T レスティングスプリントの適合加工

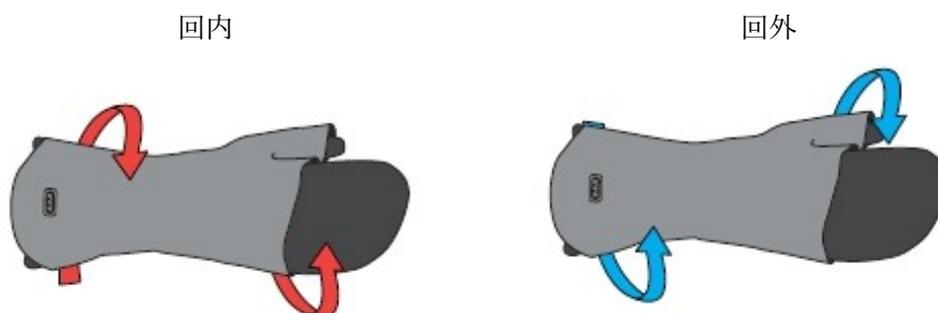
S.O.T レスティングスプリントは生体力学的な安静位で提供されます。装着前には必ず患者様毎の個別評価を行ってください。装具にはアルミ芯材が入っており、形状調整が可能です。調整は資格を持つ医療専門職が行う必要があります。

## 手関節のポジショニング

手関節の角度を調整する必要がある場合は、机の丸みのある端を利用して本製品を曲げることを推奨します。広い範囲を徐々に曲げていくことで、滑らかで均一なカーブを作ることができます。



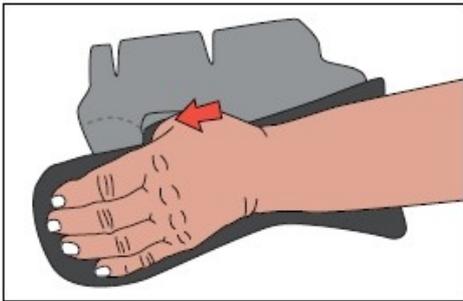
痙縮や拘縮により前腕が回内または回外している場合は必要に応じて本製品全体を横方向に回転させ、回外・回内を増やします。これにより腕に適切にフィットし、さらなる回旋変形を防ぐことができます。



## カバーについて

最適なサポートを得るため、まず親指の付け根付近から徐々にカバーを装着し、その後手関節部のカバーを留めます。カバーが全体的にしわがなく快適にフィットしていることを確認してください。

伸縮性のあるソフトカバーは、ほつれずにカットすることができ、より良いフィット感が得られます。手がむくんでいる場合は、より大きいサイズのカバーが必要になる可能性があります。カバーのみ別売りで購入することができます。



## ベルクロ

本製品の裏側に着いているベルクロ（フック側）は、必要に応じて簡単に位置を変更できます。使用中に位置がずれたりしないよう、ベルクロを確実に本体へ押し付けて固定してください。



## 追加リストストラップによる安定性

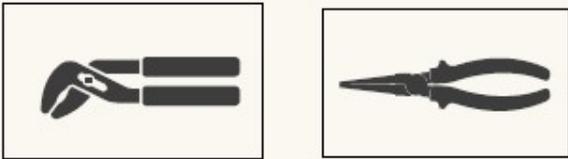
手関節をより強固に保持するために非伸縮ストラップを追加することができます（別売り）。追加リストストラップは尺側のカバー内側に取付け、手関節橈側をまわして背側へ通し、手関節を固定します。追加リストストラップをカバー内側に取付ける際はベルクロ部が半分露出する状態にし、ストラップを固定できるようにしてください。



## 母指と指のポジショニング

手指の角度を調整する際は、プライヤーを使用してください。

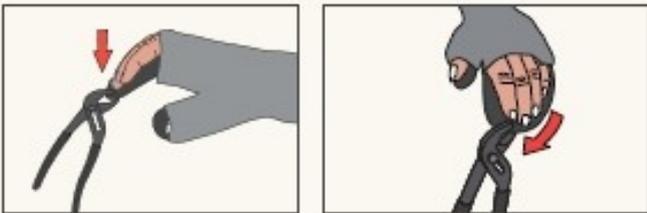
細かい調整には小型のプライヤーを使用します。



**注意：** 装具を傷つけないよう、プライヤーの先端に柔らかい保護テープ等を巻いてください。

## 指のポジショニング

1. 痙縮や拘縮により指の屈曲角度を増加させたい場合は、プライヤーで前方部分をつかみ、慎重に変形に合わせて曲げます。



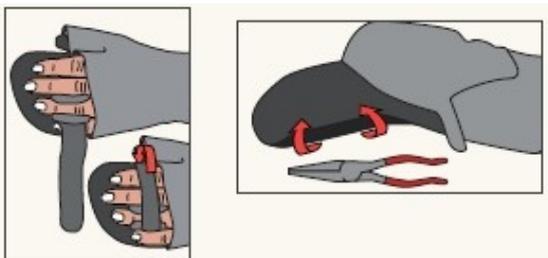
2. 内在筋優位位の手の場合は、

フィンガーディバイダーを使用することで、中手指節関節を伸展させ、スワンネック変形の予防・治療に役立ちます。フィンガーディバイダーを基節骨の付け根に合わせ、フィンガーディバイダーのストラップをPIP関節のすぐ遠位側に配置してください。



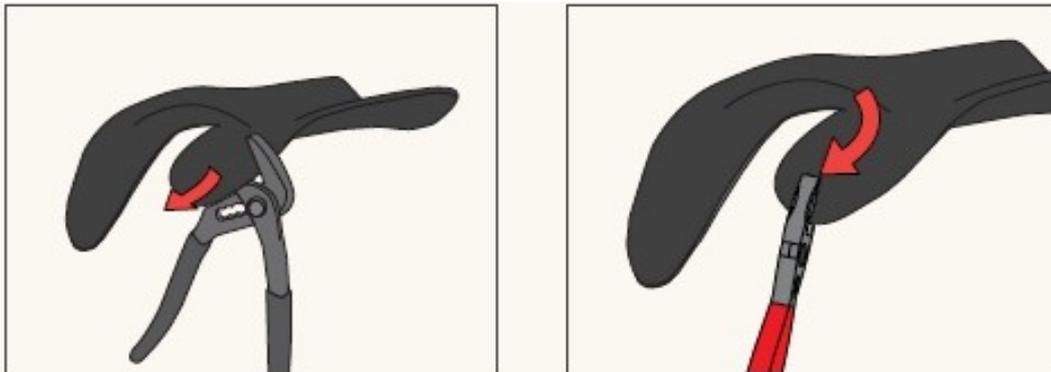
3. 内在筋優位位に加えて尺側偏位がある場合、

フィンガーディバイダーで尺側偏位の矯正にも対応できます。上記と同じ位置にディバイダーを置き、ストラップを尺側から橈側へ引っ張るように装着します。さらに尺側のサポートを強めるには、本製品の縁を優しく90°に曲げてください。フィンガーディバイダーは壁をカットして、1本または複数の指用にカスタマイズすることもできます。



## 母指のポジショニング

痙縮や拘縮により母指の位置調整が必要な場合、プライヤーで本製品の母指の根元を曲げ、CM関節の適切な位置に合わせます。母指の屈曲を増やしたい場合は、母指部分の遠位側を小さめのペンチ、または手で曲げて調整します。



## ウェッジパッド（別売り）の使用方法

ウェッジパッドはさまざまな目的で使用できます：

### 1.高い方を遠位に配置すると

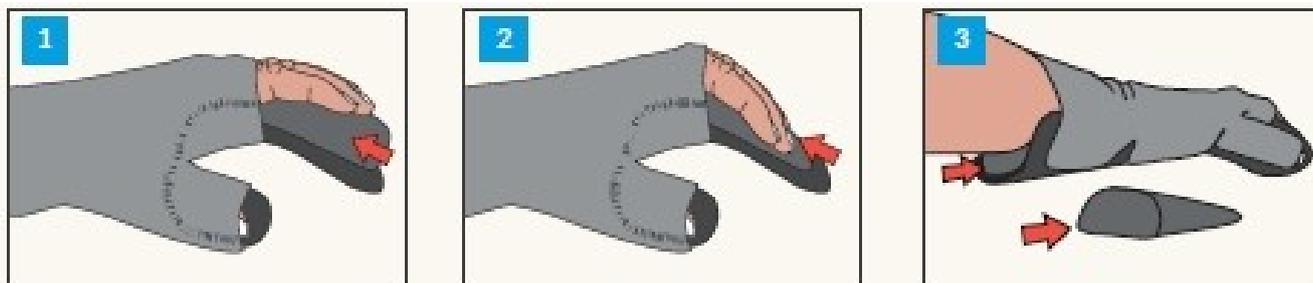
長指屈筋（深指屈筋・浅指屈筋）のストレッチが増加します。

### 2.低い方を遠位に配置すると

内在筋（骨間筋・虫様筋）のストレッチが増加します。

### 3.本製品の形状を調整せずに手関節伸展を増やす場合

ウェッジの高い方を近位に向けて装具の中に入れます。



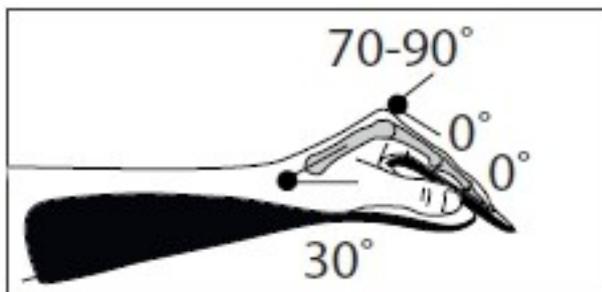
## 安静位をリハビリポジションへ変更する方法

リハビリポジションに形状を調整するには、以下の調整が必要です：

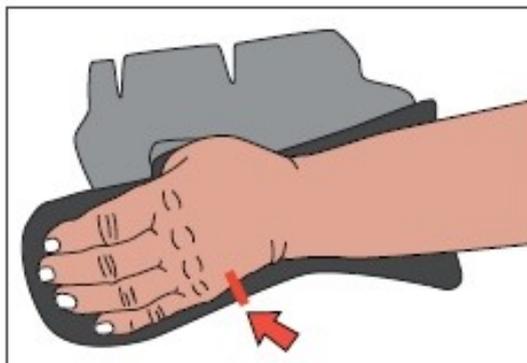
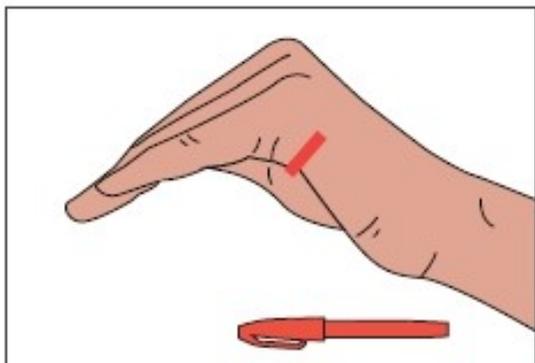
MCP 関節部：70～90° の屈曲に曲げる

IP・DIP 関節部：完全伸展させる

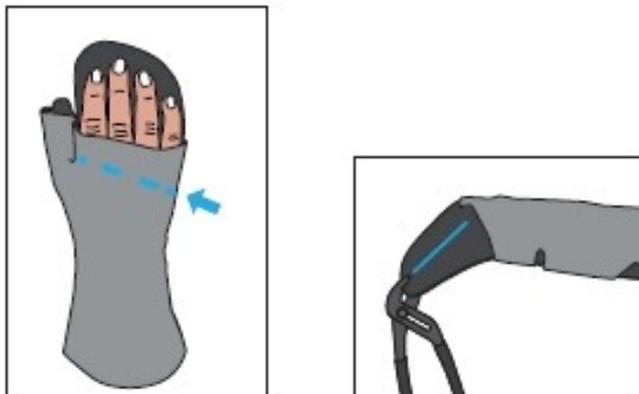
最後に手関節を 20～30° 伸展に調整する



通常より1サイズ小さいサイズを選びます。利用者の手の「遠位手掌皮線」をマーキングし、本製品に手を入れて MCP 関節と一致する曲げ位置を確認します。この位置に合わせて本製品を曲げます。



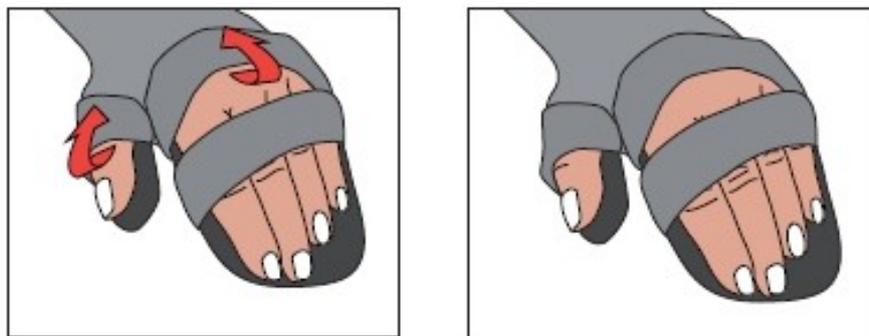
机の縁を使って曲げます。遠位手掌皮線と一致し、第2～5指の MCP 関節の自然な並びに沿って曲げてください。特に小指の位置が重要です。



プライヤーを使用し PIP・DIP 関節部を完全伸展に伸ばします。  
母指部基部を軽く掌側外転方向に引き、母指の位置を調整します。最後に手関節角度を 20～30° 伸展へ調整します。

### リハビリポジションで使用する場合の注意

MCP の屈曲を確保するため、カバーは折り返すか切って MCP 関節を露出させます。ただし、浮腫管理のため MCP レベルまでは手が覆われている必要があります。指にストラップを配置する場合は中節骨のレベルに巻きつけ、指を適切な位置に保持します。



SOT レスティングスプリントの詳細は、QR コードをスキャンしてご覧ください。



■問合せ先：アラード社 日本代理店 (株) 田沢製作所  
マーケティング部 直通ダイヤル TEL.03-3812-6481 ✉ tazawa@tazawa.co.jp